



平成29年11月6日

各位

上場会社名 京極運輸商事株式会社
 代表者 代表取締役社長 玉川 寿
 (コード番号 9073)
 問合せ先責任者 常務取締役 湊 英夫
 (TEL 03-5825-7143)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、29年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,060	30	40	20	6.49
今回修正予想(B)	4,448	163	183	118	38.44
増減額(B-A)	388	133	143	98	
増減率(%)	9.6	443.3	357.5	490.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	3,929	32	47	28	9.00

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,295	90	110	70	22.72
今回修正予想(B)	8,475	130	160	100	32.45
増減額(B-A)	180	40	50	30	
増減率(%)	2.2	44.4	45.5	42.9	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	8,359	179	224	157	50.23

平成30年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(注)前事業年度実績(平成29年3月期第2四半期)は、開示を省略しております。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,770	20	30	20	6.48
今回修正予想(B)	2,856	42	59	39	12.59
増減額(B-A)	86	22	29	19	
増減率(%)	3.1	110.0	96.7	95.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,630	50	65	40	12.96
今回修正予想(B)	5,765	65	85	55	17.82
増減額(B-A)	135	15	20	15	
増減率(%)	2.4	30.0	30.8	37.5	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	5,680	120	144	103	32.91

修正の理由

1. 連結

当第2四半期連結累計期間は、港湾運送及び通関事業における主要荷主の取扱量の減少、倉庫事業における取扱量の減少もありましたが、タンク洗滌・修理事業において大規模工事が当第2四半期連結累計期間中に終了した事、石油販売における販売数量の増加等により増収増益となる見込みであります。

通期の業績予想につきましては、景気動向が未だ不透明であります。当第2四半期連結累計期間の推移及び入手可能な情報から、タンク洗滌・修理事業において第3四半期連結累計期間以降終了する予定の工事が減少する事等から、当初の公表値は上回る見込みであるものの第2四半期連結累計期間と比較し、利益差異は減少する見込みであります。

2. 個別

当第2四半期累計期間は、ドラム缶等容器販売部門における販売及び配送数量の増加及び、貨物自動車運送事業における輸送数量の増加により増収となる見込みであります。また、貨物自動車運送事業及び貨物運送取扱事業部門において、燃料価格が当初予想より低水準で推移した事及び車両代替計画の見直しによる減価償却費の減少等により損益は公表値を上回る見込みであります。

また、通期の業績予想につきましては、景気動向が未だ不透明であります。当第2四半期累計期間の推移及び入手可能な情報から、増収増益となる見込みであります。

以上